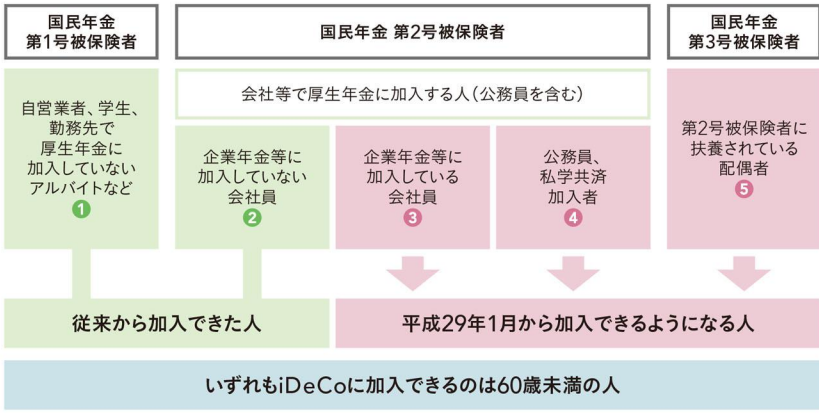




（個人型確定拠出年金 iDeCo対象者の拡大）



◆利用対象者が拡大されます

国民年金に加入するすべての人(60歳未満)が働き方の多様化やさまざまなライフプランに合わせて老後資金を準備できるようになります。掛け金は月額5,000円から68,000円で、上限額は①～⑤のタイプによって異なります。

従来から個人型確定拠出年金に加入できた人は、自営業者や、企業年金等がない会社などに勤務する会社員に限定されていましたが、平成29年1月から、公務員や専業主婦(夫)、企業年金等に加入している会社員も加入できるようになります。

※⑤の企業年金等とは、企業型確定拠出年金、確定給付企業年金、厚生年金基金等。タイプによっては利用に条件があります。中退共(中小企業退職金共済)は企業年金等に含まれないので、厚生年金と中退共のみ加入している方は、従来から個人型確定拠出年金に加入できます。

◆転職や退職をしても継続して加入できるようになります

今までは、転職したり(例①や②⇒③や④)、退職すると(例③⇒⑤)、個人型確定拠出年金に引き続き加入して掛け金を払うことができませんでしたが、平成29年1月以降は引き続き、個人型確定拠出年金に加入して掛け金を払うことができます。

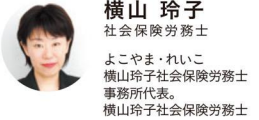
個人型確定拠出年金 iDeCoについてもっと知りたい場合は

◆制度の詳細については、国民年金基金連合会のホームページをご覧ください。掛け金の限度額や運用方法、転職・退職時の手続き、税制優遇措置、給付の受け取りなどについての説明があります。また、各種情報サイトのリンク先も紹介されています。

<http://www.npfa.or.jp/401K/>

◆個人型確定拠出年金の申し込み取扱機関は、こちらに一覧があります。

<http://www.npfa.or.jp/401K/news/pdf/renrakusaki.pdf>



横山 玲子
社会保険労務士
よこやま・れいこ
横山玲子社会保険労務士事務所代表
横山玲子社会保険労務士

事務所ホームページ
<http://www.r-yokoyama-office.jp/>
Twitterアカウント @mayokor

iDeCoの広報活動ほか

平成29年1月以降、iDeCo普及促進のため、さまざまな広報活動が行われる予定です。テレビ・ラジオCM、インターネット・新聞広告、国民年金基金連合会ホームページに特設サイトを設置、AR(仮想現実)広告、iDeCoアプリ、体験型シナリオの開催、コールセンターの設置などで広報活動が進められる予定です。この機会に、あらためて自分の老齢年金と、会社の退職金や企業年金を確認し、老後の生活について考えてみてはいかがでしょうか。



個人型確定拠出年金 (iDeCo) とは

今月は、平成29年1月から利用できる対象者が拡大する「個人型確定拠出年金 iDeCo(イデコ)」について説明します。

答える人 先生 社会保険労務士
聞く人 祐希(33歳) 会社員(独身)

個人型確定拠出年金 (iDeCo) 入門

私的年金iDeCoは、2階建ての公的年金に上乗せする制度です。

公的年金制度の老齢年金は2階建て

- ◆1階の老齢基礎年金
20歳から60歳になるまでの40年間、国民年金または厚生年金の保険料を払うと、満額になる。国民年金保険料の未納や免除・納付猶予期間がある場合は、その分の年金額が少なくなる。
- ◆2階の老齢厚生年金
会社などで加入する厚生年金の加入期間の長さや給与・賞与の額に応じて負担した保険料に応じて年金額が決まる。

iDeCoは自分で準備する私的年金

- ◆3つの税制優遇措置
① 毎月の掛け金を払うと、所得税・住民税が安くなる。
② 運用益に税金がかからない。
③ 老齢給付金を受け取る時も税制優遇措置がある。
- ◆加入するときの留意点
● 加入手続き、積立金の運用は自分で行う。また、口座管理手数料などがかかる。
● 老後の資産形成が目的の制度なので、原則として60歳まで中途引き出しは不可。

祐希 将来のことを考えると年金だけではなんとなく不安なのですが、どんな準備をすればいいのでしょうか。
先生 老後の資金は土台の公的年金と、その上乗せを考えます。祐希さんは老齢年金の支給開始年齢と年金額がどのくらいか、確認したことはありませんか？
祐希 毎年、誕生日に「ねんきん定期便」が届きますが、よく見ていませんでした。たしか、日本年金機構のホームページで、年金額の試算ができるんですよ。
先生 そうですね。今後の働き方を考えながら、日本年金機構の「ねんきんネット」で老齢年金の試算をしてみてください。それから、会社に退職金や企業年金の制度はありますか？

祐希 退職金はありませんが、金額は知りません。企業年金はわかりません。
先生 では、一度会社で確認してみたいですね。次に、自分で準備できる方法を考えます。その方法の一つに個人型確定拠出年金があります。愛称は、「iDeCo(イデコ)」といいます。
祐希 イデコって何ですか？
先生 イデコは私的年金ですが、税制優遇措置を受けながら老後資金を準備できる制度です。
祐希 税制優遇があるなら、上手に利用したいですね。
先生 平成29年1月から利用できる対象者が拡大されて、働き方の多様化やさまざまなライフプランに合わせて利用しやすくなりました。

えがおジャーナル

えがおジャーナル